

令和7年第2回神栖市議会定例会 補正予算資料

補正予算の規模 (単位：千円)

会計名	当初予算額	補正前額	今回補正額	補正後額
一般会計	44,742,131	44,742,131	△37,465	44,704,666

令和7年度神栖市一般会計補正予算（第1号）

補正額 △3,746万5千円

補正の主な内容につきましては、歳出においては、国による新型コロナワクチン定期接種費用の助成が終了することに伴い増額となる自己負担を軽減することを目的として、市の助成額を変更するため、また、企業版ふるさとづくり寄附金を活用し、新たにスポーツツーリズム国際大会開催助成金を交付するため、補正するものであります。歳入においては、諸収入、寄附金等を補正するものであります。

補正の主な内容

【歳入】

①諸収入	△59,760千円
新型コロナ定期接種ワクチン助成金	
②寄附金	11,000千円
企業版ふるさとづくり寄附金	
③繰入金	10,451千円
財政調整基金繰入金	
④国庫支出金	844千円
生活保護適正実施事業費	

【歳出】

①新型コロナワクチン定期接種 等	△60,655千円
②スポーツツーリズム国際大会開催助成金	6,000千円
③コミュニティバス運行業務委託料	1,100千円
④医師修学資金貸付金	14,400千円
⑤生活保護システム改修委託料	1,690千円



保健予防事業(新型コロナワクチン助成額の見直し)

概要

令和6年度から定期接種となった新型コロナワクチン接種については、接種費用に対して国の助成額8,300円と市の助成額2,000円を合わせて、合計で10,300円を助成していましたが、令和7年度から国助成の終了が決定したことに伴い市民負担を軽減するため、市助成額を見直します。

助成額

3,000円/年度内1回 (令和6年度比：1,000円増額)

(想定人数：3,990人) ※対象者のうち、生活保護受給者等については全額助成



接種費用(R6) 15,300円程度※

市助成額(R6)
2,000円

国の助成金(R6)
8,300円

自己負担額
5,000円程度※

R6予防接種助成額:10,300円



接種費用(R7) 15,600円程度※

市助成額(R7)
3,000円

自己負担額
12,600円程度※

R6市助成額から1,000円増額

※医療機関により、接種費用及び自己負担額が異なります。

補正予算

	補正前	補正後
歳入	新型コロナ定期接種ワクチン助成金 59,760千円	新型コロナ定期接種ワクチン助成金 0千円 [△59,760千円]
歳出	市助成額2,000円 見込接種率30.0% 国助成額分：59,760千円 市助成額分：15,400千円	市助成額3,000円 見込接種率16.4% 国助成額分：0千円[△59,760千円] 市助成額分：14,490千円[△ 910千円]

●市助成額の見直しに伴う財源については、令和6年度の新型コロナワクチン接種の実績に基づき令和7年度の見込接種率を見直し積算したことにより、当初予算の範囲内で対応可能。



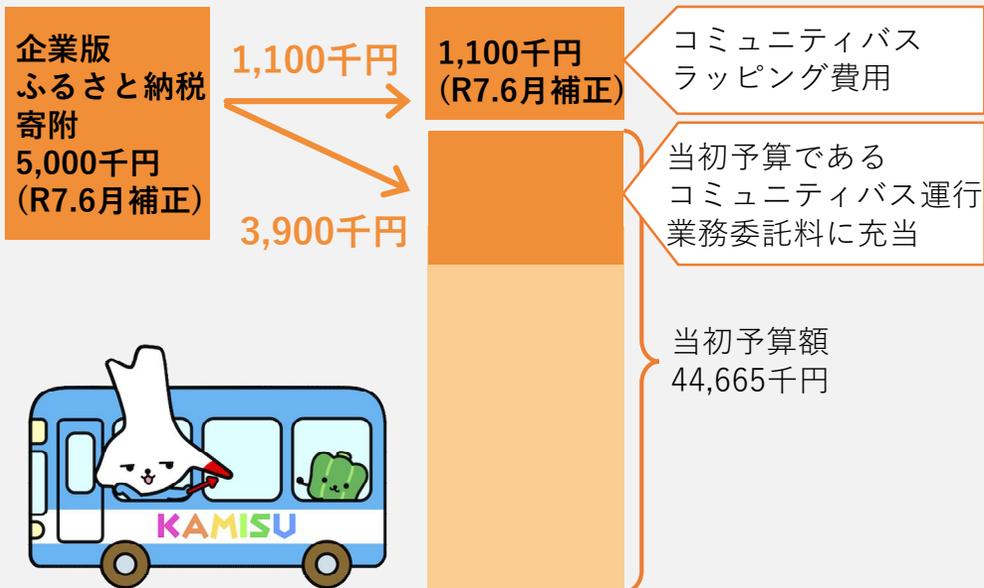
企業版ふるさと納税

制度概要

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）は、新たな民間資金の流れを巻き起こし、地方創生の取組を深化させることを目的として、平成28年度に創設された制度です。認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

① コミュニティバス運行業務委託料

企業版ふるさと納税による寄附金を市の重要な交通手段であるコミュニティバスの運行に充てるほか、運行しているバスをラッピングします。また、当該ラッピングにより、企業版ふるさと納税のPRも図ってまいります。



② スポーツツーリズム国際大会開催助成金

企業版ふるさと納税による寄附金を活用し、日本スポーツ界の将来を担う子どもたちを応援することを目的として、市の国際大会開催助成金制度を創設します。子どもたちの育成と、スポーツツーリズムによる経済効果の両面の効果を期待しています。

● 補正額 6,000千円

● 制度概要

下記の全てに該当する国際大会を運営した大会主催者等に、海外から参加するチームの渡航費用等について50%を上限に助成

- (1) 市内で開催され、国内及び海外から参加する大学生（同好会除く）までの大会
- (2) スポーツにより16以上のチームで競い合い順位を確定させる大会
- (3) 8割以上が市外からの参加者であり、かつ、半数以上が市内宿泊を伴う大会

